市町村名	本部町

令和５年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-①	低炭素なまちづくり推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章－1－1－ア 脱炭素島しょ社会の実現に向けたエネルギー施策の推進
担当部課名	建設課	事業実施（予定）年度	令和５～１３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－2

事業内容	地球温暖化の主要原因の一つである二酸化炭素排出量を削減することで、環境負荷を低減し持続可能な社会を構築するために、公衆街灯路や公共施設等の照明機器を省エネタイプのLED照明に切り替える。
効果発現年度	■当年度　□後年度（　　年度）
実施方法	□直接実施　□委託　□補助　□負担　■その他（工事）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R5年度	R5年度（繰越）	R6年度	R7年度	R8年度
予算の状況	(a) 当初予算額	60,000				
	(b) 予算現額	63,837				
	(c) 増減額 (b-a)	3,837	0			
	(d) 繰越額		32,179			
	A. 計 (b+d)	63,837	32,179			
B. 執行済額		31,658	30,822			
うち交付金充当額		25,326	24,658			
次年度繰越額		32,179	0			
執行率（%）(B/A)		49.6%	95.8%			

予算の状況の説明：工事に使用する資材のメーカーが受注を停止したことにより、工期を延長したことから33,319千円を令和6年度に繰越した。
また、受注停止理由が需要に供給が追いつかないことであったため、インフレスライドを見据えて予算を増額したが、インフレスライドが起こらなかったため、減額となった。

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
調査設計業務委託発注	目　標	2件			
	実　績	2件			
LED照明切替工事発注	目　標	1件			
	実　績	2件			

達成状況説明：予定通り工期内にLED照明に切り替えることができ、事故なく工事を実施できた。また、当初で工事を一件で発注予定であったが、予算が足りなかったため、変更申請を行う必要あり、工事を2件に分けたことから実績の件数が増えた。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R5年度	R6年度	R7年度	目標値（年度）
R5年度中に切り替えるLED照明による二酸化炭素排出量の削減	目　標	（　）	46.8t-Co2/年（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		46.8t-Co2/年			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：二酸化炭素の排出量については、消費電力と年間点灯時間及び電力会社のCo2排出係数を乗じて算出した結果、46.8t-Co2削減することができた。

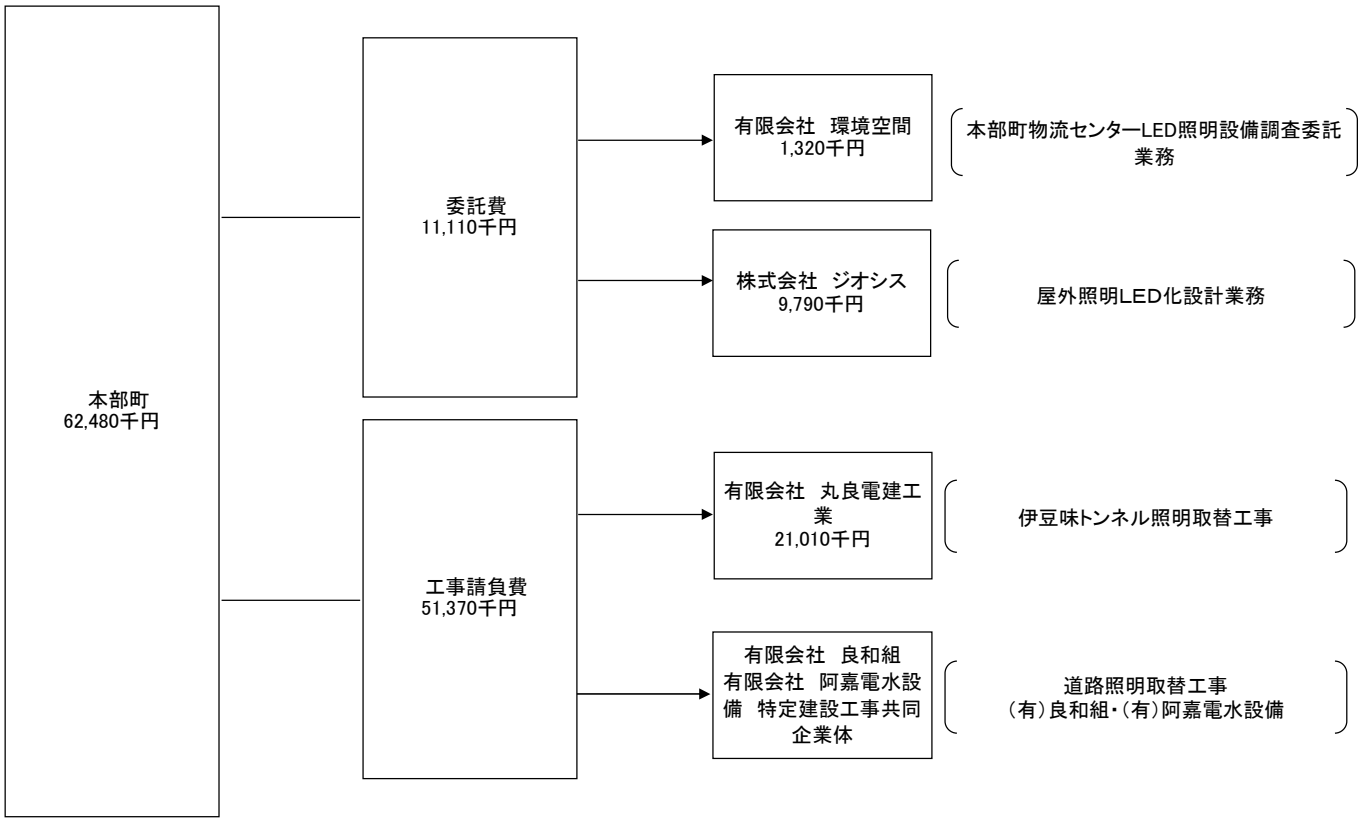
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	二酸化炭素排出量の削減は計画とおりに行うことができたが、道路拡張予定箇所や取り壊し予定施設周辺のLED照明への取替を行うことができなかった。	道路拡張予定の箇所や取り壊し予定施設周辺は、拡張と取り壊しが終わり次第LED照明へ切り替えを進めることで二酸化炭素削減量の増加につながる。

今後の取り組み方針

引き続き各施設をLED照明に切り替えることで、電力量を抑えて町全体の二酸化炭素排出量の削減を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
62,480	62,480	49,984	12,496	0



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託および工事については指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成のため必要であり、完了・完成検査を行っているため、適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	